

新宮町立幼稚園教育の概要

教 育 目 標

自ら環境にかかわりながら自己を発揮し、仲間と共に育ち合い
心豊かに生きていくことのできる素地を育てる

望ましい幼児像

- ・明るく元気に遊ぶ幼児（健康）
- ・自分でできることは自分でする幼児（人間関係）
- ・自分で考え、意欲的に取り組む幼児（環境）
- ・自分の気持ちを言葉で伝えながら遊ぶ幼児（言葉）
- ・感じたことを素直に表現する幼児（表現）

めざす教師像

- ・愛情と信頼感に満ちた教師
- ・研修に励む感性豊かな教師
- ・一人一人の思いや個性を大切に
にする教師

教 育 方 針

- （１）幼児の興味関心や欲求に応じた魅力ある環境づくりに努め、自己を十分発揮できる楽しい幼稚園をめざす。
- （２）自然な生活の流れの中で生活に必要な習慣や態度が身につくように努める。
- （３）一人一人の幼児を理解し、心に寄り添い、信頼関係を深め、一人一人を大切にする保育に努める。
- （４）友達と楽しんだり共感したりする体験を通して、思いやりの気持ちが育つような援助の在り方を工夫する。
- （５）自然との触れ合いや心を揺さ振る体験を十分にさせ、表現意欲を高め、心豊かになるよう環境の充実に努める。
- （６）家庭や地域・小学校との連携を密にし、役割をお互いに理解し合って幼児の望ましい発達のため、協力し合う。
- （７）教師一人一人が常に自己研修に取り組み、しっかりとした教育観を持ち、教師相互の共通理解と和を図り幼児教育の創造に努める。

学 年 目 標

- （年少）安定した園生活の中で、のびのびと自分を出しながら遊ぶ幼児
（年中）思いや考えを出しながら、意欲的に遊ぶ幼児
（年長）見通しを持ち、遊びや生活を自主的に進めていく幼児

人 権 ・ 同 和 教 育 の 概 要

—— 子ども一人一人の育ちを大切にし、自分の思いを表現しながら、
友達の思いを受け入れられる子どもを育てる ——

★ 基 本 方 針

- ◇ 一人一人のセルフエスティーム（自己肯定感）を高めていく中で、自分や友達の「良さ」を発見し、お互いに認め合えるような保育活動を推進する。
- ◇ 保護者と教師が子どもについて共に考え合い、ウェルビーイング（一人一人の多様な幸せ）が高められるよう、幼児理解に努める。
- ◇ 学同部やその他の研修会に積極的に参加し、人権・同和教育に対する見識を高める。

★ 主 な 取 り 組 み

- クラスや子ども一人一人の実態・課題を出し合い、発達段階に沿った育てたい姿を明確にし、教育計画のあり方、保育実践の研究に努める。
- ティーム保育を通して、子どもを多面的に見ることで幼児理解に努め、一人一人を大切にする保育に取り組む。
- 一人一人を生かした集団を形成しながら人と関わる力を育てていくようにする。また、幼児が自己を発揮し、他者に認められる体験を通し、自分のよさに気づき、自信を持って行動できるようにする。
- 社会の出来事に触れることや、誕生会の取り組みを通して、命の大切さや平和の尊さを感じさせていく。
- 保護者と教師が信頼関係を深め、共通理解を図りながら、その子どもにあったかかわり方を考え合っていく。また、保護者の人権・同和教育への意識が高まるように啓発に努めていく。